

読解 時間の長さは変わる

_____ がっ _____ にち

次の文章を読んで、問いに答えましょう。

- ① 筆者は、楽しい時間が短く感じられる理由を、何に求めていますか。 ☐
- ア 時計の進み方 イ わたしたちの感じ方 ウ 一日の長さ
- ② 感じ方が変わる理由として、筆者があげている説明を、九字でぬき出しましょう。(9字)
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- ③ 大人になると一年が短く感じられるのは、なぜだと述べていますか。 ☐
- ア 体が成長したから イ くり返しの日々が増えるから ウ 仕事がいそがしいから
- ④ 時間を長く豊かに感じるために、筆者がすすめていることは何ですか。
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

楽しい時間はあっという間に過ぎ、退屈な時間は長く感じる。だれもが経験することだが、時計の針はどちらの場合も同じ速さで進んでいる。長さが変わっているのは、時間そのものではなく、わたしたちの感じ方である。

なぜ感じ方が変わるのか。一つの説明は、「新しいできごとの数」である。初めての場所へ行く日は、見るもの聞くものすべてが新しく、脳はたくさんの情報を記おく。あとからふり返ると、記おくが多いぶん、その日は長かったように感じる。反対に、毎日同じことをくり返していると、記おくに残るできごとが少なく、一週間がまたたく間に過ぎたように感じるのだ。

大人になると一年が短く感じられるのも、同じ理由で説明できる。子どものころは毎日が新しい経験に満ちているが、大人になるほど、くり返しの日々が増えていく。

つまり、時間を長く豊かに感じたいなら、新しいことに目を向け続ければよい。時間は、使い方しだいで、のびもちぢみもするのである。

